



# ホノルル マラソンに挑戦!

No.14

## 高橋 瑞季 さん

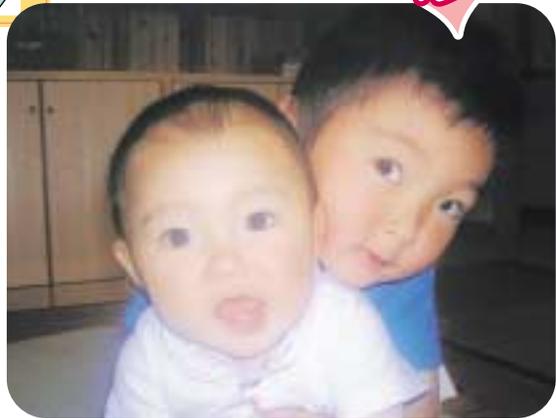


上野田在住。吉岡中学校2年生。昨年12月10日(日本時間11日)、ハワイ・オアフ島で開催されたホノルルマラソンに参加し完走。14歳以下の部で4位という成績をおさめた。

多くの日本人に親しまれているホノルルマラソン。1年を締めくくると同時に昨年12月10日にハワイ・オアフ島で開催されました。世界40カ国から2万8,635人が参加。日本人は1万7,905人がエントリーし、その中に中学2年生の高橋瑞季さんは立っていました。高橋さんが、ホノルルマラソンへの参加を決めたのは、一昨年の冬。祖母から勧められ、走ることが好きだった高橋さんは、気軽に引き受けました。しかし、フルマラソンは初めてなので不安になり、毎週日曜日3時間ほどの練習を重ねました。

そして、1年間の準備期間を経て不安を自信に変え、高橋さんはスタート地点のアラモアナ公園に立ちました。スタートは、まだ日の昇らない午前5時。2万8,635人がスタート地点につくと、その長さは1キロメートルを超えます。自分がどこにいるのかも分からないほどの人ごみの中、高橋さんはスタートを切りました。前半は、一緒に走っていた人を引き離すほど、快調に走りまわりました。しかし、日が昇ると同時に気温も上がり、折り返し地点を過ぎた頃には、ペースも落ちていきました。しかし、そんな時やる気を奮い立たせてくれたのは、外国人のおばさんが手渡してくれたチヨコチップクッキー。言葉は交わさなくても、「一緒に頑張ろう!」という気持ちが伝わってきたと高橋さんは語ります。その後、度重なる痙攣や疲労に襲われましたが、ストレッチを繰り返して、なんとかゴールすることができました。高橋さんが走りぬいた5時間12分。この結果は14歳以下の部で4位という立派な成績でした。しかし、この素晴らしい成績よりも、完走できたことが一番嬉しいと語る高橋さん。完走者全員に手渡された完走メダルは、これからも彼女の自信となり一生の宝物となるでしょう。

## わが家の愛ドル



かなた **今井 奏多くん** はづき **葉月ちゃん**  
平成15年5月23日 平成17年8月17日生まれ  
豊さん 和子さんの長男・長女 (第11区)

●メッセージ  
兄妹仲良く!  
たくさん食べて  
大きくなってネ!

## 吉岡短歌会

文芸よしおか

「またあした」遊び疲れて帰る子の 小さき背なを夕日がつつむ	田中 徳子
トンネルを抜ければ紅葉に雪の舞う 白川郷は絵画の世界	町田 隆子
口を衝く幼き頃の歌に酔う 兎「美味し」と思いし彼方	舟岡 則子
父母眠る村から町へ市となりし 遠のく故郷に及ぶ残照	吉澤 八千代